

## 平成24年度 第2回豊田市商業振興委員会会議録（実名なし）

【日 時】 平成24年9月25日 午後2時00分～4時30分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】 〈委員〉

加藤 勇夫 [愛知学院大学名誉教授]  
河木 照雄 [豊田商工会議所副会頭]  
服部 正雄 [トヨタ生活協同組合特別顧問]  
杉戸 厚吉 [社団法人地域問題研究所計画部長]  
浅井 良隆 [コンサルティングオフィス アット・ドリーム]  
松井 栄子 [株三州足助公社 課長]  
澤田 恵美子 [豊田市消費者グループ連絡会会長]

〈事務局〉

小栗 保宏 [豊田市産業部長]  
須藤 寿也 [豊田市産業部調整監]  
早川 正文 [豊田市産業部商業観光課長]  
長江 洋一 [豊田市商業観光課副主幹]  
鈴木 啓介 [豊田市商業観光課係長]  
近藤 美由紀 [豊田市産業部商業観光課主査]  
西川 雄太 [豊田市産業部商業観光課主事]

〈傍聴者〉

なし

【次 第】

開 会

- 1 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 2 委員長あいさつ
- 3 審議事項
  - (1) がんばる個店のネットワークによる魅力創出支援事業  
大林エリア商業活動有限責任事業組合
    - ・プレゼンテーション及び質疑応答
    - ・審議
- 4 報告事項
  - (1) 補助金事業、交付金事業の進捗状況
  - (2) 今後の予定
    - ア 現地視察（平成24年11月上旬を予定）
      - ・永新ゼミ
      - ・第3回大林あたりのご当地グルメを探せ！ 0-1グランプリ
      - ・みゆき屋台村
    - イ 第3回豊田市商業振興委員会（平成24年11月20日（火）午後2時～）

## 5 現地視察

- (1) 空き店舗活用支援事業  
美容室ニーチェの鏡（西町商店街）

## 6 閉 会

### 【会議録（要約）】

#### 開会

- 1 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて  
事務局から説明された。
- 2 委員長あいさつ  
委員長があいさつをされた。

#### 3 審議事項

- (1) がんばる個店のネットワークによる魅力創出支援事業  
大林エリア商業活動有限責任事業組合から資料に基づきプレゼンテーションがされ、委員から意見をいただいた。

【主な質疑応答】 14:10~14:40

#### 委員

大林エリア商業活動有限責任事業組合は、制度をうまく利用し、積極的に補助金を活用して事業に取り組んでいる。客観的には、補助金ありきの事業と捉えているように見える。加えて、代表者が一人歩きしているとも考えられるがいかがか。

#### 申請者

我々商業者のやりたいこと、やるべきことと、行政の方針が合致していると考えている。補助金が無くとも事業は実施する。補助金をいただいた場合は負担が減り、非常に助かっている。

#### 委員

自論だが、商業の発展無くして、市の発展は無い。商業者には、補助金の有無に係わらず、頭と汗と金を使い、自助努力をして欲しい。補助金は市民の税金でもあるということを意識すること。

#### 委員

他の商店街のイベントでは、イベント実施時の集客効果も大きな目的だが、その後の集客に繋げる狙いもある。その点について何か考えはあるか。

#### 申請者

11月25日までをイベント期間としている。この頃から忘年会の予約が始まるため、イベントに来たお客様を抱え込みたいという狙いがある。

#### 委員

他の商店街のイベントは、参加店が当初12軒だったものが現在は40軒となり、地域の飲食店の参加率が上がっている。「0-1グループ」の参加店は10件だが、大林エリアの飲食店に対する割合はどれほどか。

#### 申請者

明確ではないが、1割を切ると思う。今回で3回目の実施となるが、1回目のときは、地域を盛り上げるためと大林エリアの飲食店に半ば強制して参加を促した。参

加店からは売れないという声もあった。理想は、売れるという噂を聞いて参加店が集まってくるようにしたい。

委員

現在の参加店からは気だるいといった声はないか。

申請者

参加店のモチベーションは非常に高い。ミーティングが毎月1回あるが、必ず宿題が出ている。代表者としても安心しており、後は結果がついてくればと思う。

委員

今回の事業の支出は広告宣伝費が多くを占めている。この事業の狙いは何か。

申請者

今回掘り起こしたいのは、「気になっていただけに行ったことがない」といったような新規のお客様の需要。

委員

客数及び客単価をみると、客数が減っているとのこと。これはリピーターが減っているのか。

申請者

常連客が来店するサイクルが延びていると分析している。そのため、今回の事業で新規顧客を獲得したい。

委員

前回の事業の目標達成について、新規顧客の獲得に成功したとしているが、この新規顧客がリピーターとなっているのか。

申請者

把握していない。

委員

「新規顧客の獲得が目標」と言い続ければよい訳ではない。新規顧客を獲得し、その動向を把握したうえで次にどう策を打つのかを考えて欲しい。把握するように。

委員

第1、2回はテーマ食材を決めて参加店それぞれがメニューを出した。現在もそのメニューは継続されているか。また、今回の参加店の一押しメニューとして入っているか。

申請者

4軒が継続している。一押しメニューに入っているものは1軒。

委員

この事業にストーリー性を感じない。次回以降の展開に考えはあるのか。

申請者

実施方法については、参加店に様々な意見がある。今回はそれぞれが一押しメニューを出し、お客様に賞品を還元するという方法を選択した。色々と挑戦した中で、定着させていきたい。

委員

チラシの配布方法について、地元の回覧版となっているが。

申請者

予算の都合上、他のPR方法を実施するのはなかなか厳しい。大林エリアは人口密度が高いため、地元へPRするのは一番効果が高いと思っている。トヨタ自動車関係の寮や、事業所への配布はできない。

## 委員

「個店の意識強化」と「組織の連帯強化」は大切なこと。大林エリア商業活動有限責任事業組合は、それを引っ張るリーダーと、そのバックアップを果たすメンバーが出来つつあるようだ。成果を出して行って欲しい。

### 4 報告事項

(1) 補助金事業、交付金事業の進捗状況

(2) 今後の予定

ア 現地視察（平成24年11月上旬を予定）

・永新ゼミ

・第3回大林あたりのご当地グルメを探せ! 0-1グランプリ

・みゆき屋台村

イ 第3回豊田市商業振興委員会（平成24年11月20日（火）午後2時～）

### 5 現地視察

(1) 空き店舗活用支援事業

美容室ニーチェの鏡（西町商店街）

### 6 閉会